

NGOと企業の 連携で進めるMDGs

貧困や環境破壊など深化する地球規模の課題に対する国際社会の協力は待たなしの局面を迎えています。国連は「ミレニアム開発目標（MDGs）」を設けて2015年までの解決をめざしており、私たちも例外ではありません。なかでも企業の積極的な取り組みへの期待が高まっています。企業のCSR活動は今や、地域社会のみならず、グローバルな視野をもって進めることが求められる中、国際協力の各分野で専門性を有するNGOとの連携が注目されています。企業とNGOそれぞれの力を活かしたパートナーシップを組むことで地球規模の課題解決が大きく進展することと思います。ですが、取り組みは広がっておらず、いかにパートナーを選ぶのか、どのような形で連携するのかといった基準やノウハウの蓄積や共有が必要となってきました。

MDGsとCSRの推進における最新の議論や先進事例から学び、「公益資本主義」を提唱する原丈人氏のお話を通して持続可能な社会とビジネスのあり方を考え、関西における企業とNGOの連携への弾みとなればと企画いたしました。ぜひ、ご参加ください。

日時

2009年 **11月13日(金)** (開場13:30)
シンポジウム(14:00~18:00) 交流会(18:15~)

会場

pia NPO 6F大会議室
(大阪市港区築港2-8-24
地下鉄中央線「大阪港」駅)

参加費／無料 定員／100人 ※どなたでもご参加いただけます。

問題提起

米良 彰子 (特活) オックスファム・ジャパン事務局長
門田 瑠衣子 エイズ孤児支援NGO・PLAS代表理事

事例発表

積水ハウス(株) × 国際環境NGO FoE Japan

持続可能な木材利用を可能にするため、環境に配慮し、社会的に公正なフェアウッド調達に取り組む

(株)フェリシモ × (社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

「フェリシモ地球村の基金」を通して、モンゴルで家庭内暴力や家庭崩壊などの理由から路上生活をする子どもの自立を支援する

(株)カスタネット × (財)国際開発救援財団

プリンターのトナーカートリッジの販売益を財源に、販売活動と社会貢献を融合させた教育支援を展開



MDG 1
貧困と飢餓をなくす



MDG 2
教育を受ける機会をもつ



MDG 3
ジェンダーの平等



MDG 4
乳幼児死亡率を下げる



MDG 5
妊産婦の健康改善



MDG 6
エイズやマラリアなどの感染症を防ぐ



MDG 7
環境を守る



MDG 8
世界的な協体制

このロゴは「(特活) ほっとけない世界のまずしさ」がMDGsを広めるために制作したものです

特別講演

社会的企業の在り方と新しい資本主義

原 丈人

デフタ・パートナーズグループ会長



プロフィール
1952年大阪生まれ。欧米を拠点とする日本人実業家。ベンチャーキャピタリストとして情報通信技術分野で企業への出資と経営に携わり、10数社を世界的企業へと導いた。デフタが率いる企業群が開発した技術を使って途上国の情報インフラを整備し、識字率、医療衛生状態を改善するため、2005年バングラデシュに現地NGOと合弁会社のブラックネット社を設立。先端技術を活用して低コストで事業を起こし、その収益を途上国支援にあてるビジネスモデルが注目されている。著書に『21世紀の国富論』（平凡社）、『新しい資本主義』（PHP新書）。

主催 外務省 実施 (特活)国際協力NGOセンター、(特活)関西国際交流団体協議会

後援 大阪商工会議所(依頼中)、(社)関西経済連合会(依頼中)、(社)関西経済同友会、(社福)大阪ボランティア協会、(特活)関西NGO協議会、(特活)きょうとNPOセンター

問い合わせ：(特活) 関西国際交流団体協議会

TEL：06-4395-1124 FAX：06-4395-1125 E-mail：kna@pianpo.com URL：http://www.interpeople.or.jp

グローバルCSRフォーラム

NGOと企業の連携で進めるMDGs

プログラム

14:00～14:30 問題提起

- ・米良 彰子 (特活)オックスファム・ジャパン事務局長
- ・門田 瑠衣子 エイズ孤児支援NGO・PLAS代表理事

MDGsと企業の関係、NGOと企業の連携での課題やメリットなど、グローバルCSRを推進する上で押さえておくべきポイントや論点を提示します。

14:30～16:00 事例発表と質疑応答

関西企業とNGOによる先進事例から連携の秘訣(意義・成果や苦労したことなど)を学んでいただきます。

持続可能な環境

積水ハウス(株)×国際環境NGO FoE Japan

2007年4月に木材調達方針「持続可能性を支える10の調達指針」を策定。持続可能な木材利用を可能にするため、環境に配慮し、社会的に公正なフェアウッド調達に取り組む。

- ・楠 正吉 積水ハウス(株)コーポレート・コミュニケーション部CSR室長
- ・中澤 健一 国際環境NGO FoE Japan森林担当

貧困撲滅

(株)フェリシモ×(社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

全国の顧客から毎月一口100円で集まった寄附で運営する「フェリシモ地球村の基金」を通して、家庭内暴力や家庭崩壊のため路上生活を送るモンゴルの子どもの自立を支援する。

- ・宮本 孝一 (株)フェリシモ「フェリシモ地球村の基金」事務局長
- ・梶 英樹 (社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン大阪事務所コーポレートパートナーシップ担当

初等教育

(株)カスタネット×(財)国際開発救援財団

プリンターのトナーカートリッジの販売益を財源にしたカンボジアでの学校建設や文房具の寄附を行う。販売活動と社会貢献を融合させたビジネスモデルとして注目を集める。

- ・植木 力 (株)カスタネット代表取締役社長・社会貢献室長
- ・中川 絢子 (財)国際開発救援財団マーケティング・支援者サービス担当

16:15～17:30 特別講演

社会的企業の在り方と新しい資本主義

- ・原 丈人 デフタ・パートナーズグループ会長

公益資本主義の考え方、「デフタ・bracNetプロジェクト」など貧困削減に貢献するビジネスのあり方についてお話いただきます。

17:30～18:00 全体まとめ

pia NPO 周辺地図



※大阪港駅の4番出口を出て西へ200m(徒歩4分)
大阪市港区築港2-8-24 (TEL: 06-4935-1123)

申込書

下記必要事項をご記入の上、E-mail: kna@pianpo.com FAX: 06-4395-1125 までお送りください。

氏名

所属(団体名/企業名)

担当課・役職

住所(自宅/所属先)

電話

E-mail

シンポジウム終了後には、新たな出会いの場としていただきたく交流会を開催します

日時 11月13日(金) 18:15～19:30 場所 pia NPO 6階会議室 参加費 2,000円

「交流会」

参加する 参加しない